

## 本郷特別支援学校における誤飲事故について

横浜市立本郷特別支援学校において、小学部4年の男子児童が、トイレに設置された清掃用具入れに入っていた床掃除用洗剤を誤飲する事故が発生し、病院に救急搬送のうえ、処置を行いました。現在、ICUにて入院治療中です。

## 1 学校概要

学校名 横浜市立本郷特別支援学校 校長 須藤 明 (すどう あきら)  
全校児童生徒数：171名 (小学部70名、中学部41名、高等部60名)  
所在地 横浜市栄区小菅ケ谷三丁目37番12号

## 2 事故概要

## (1) 発生日時

6月26日(火) 13時頃

## (2) 発生場所

本郷特別支援学校内2階男子トイレ

## (3) 発生状況

当該児童が、トイレに設置された清掃用具入れに入っていた床掃除用中性洗剤(500mlのペットボトルに詰め替えていた)を誤飲したため、救急車を要請して、病院に救急搬送しました。搬送先のA病院において処置を行い、再度、救急車にて検査等の対応ができるB病院に移送されました。現在はB病院に入院治療中です。

## 3 主な経過

6月26日(火)

- 13:00 前 午後の授業開始前に当該児童が担任教諭とトイレに行きました。担任教諭が当該児童に、トイレを済ませたら教室に戻るよう指示しました。担任教諭は他の児童の対応のため教室に戻りました。
- 13:07 担任教諭が、当該児童がトイレから戻らないことに気付き、トイレ内を確認しました。当該児童が洗剤の容器に口をつけているところを発見し、担任教諭が直ちにトイレの洗面所で口をすすがせました。当該児童がオレンジ色の液体を吐いたことから、洗剤を誤飲したことを確認しました。
- 13:13 学校が救急車を要請するとともに保護者へ連絡しました。(担任教諭及び養護教諭が救急車に同乗。)
- 13:49 救急車にて男子児童がA病院に到着しました。  
A病院では、レントゲン撮影等の処置はしましたが、検査等の対応ができるB病院へ移送することとなりました。
- 15:38 救急車にて当該児童がB病院に到着しました。  
検査のために1日入院することとなり、全身麻酔により胃カメラで検査しました。
- 18:00 頃 B病院にて学校長から当該児童の保護者に謝罪しました。

6月27日(水)

- 8:00 当該児童の保護者から学校に電話があり、医師からの説明の内容の報告を受けました。(2～4週間は入院が必要)
- 14:00 保護者が来校された際に、経過の説明があり、医師からの説明の内容の報告を受けました。(4週間は入院が必要)  
担任教諭からも改めて謝罪するとともに、誤飲があった現場の確認を行いました。

#### 4 原因

トイレに設置された清掃用具入れは、普段は約180センチの位置に止め金具をかけており、当該児童の身長では開けられないようになっています。事故発見時は、止め金具がかかっておらず、扉を開けられる状況になっていました。また、児童の手が届くところに洗剤が置いてありました。

#### 5 対応

清掃用具入れの施錠の徹底及び各学校への注意喚起を行います。

#### 6 今後の対応

事故の原因等については、文部科学省から出された「学校事故対応に関する指針」に基づき、調査を進めております。また、今後、外部の委員で構成する「学校保健審議会(学校安全部会)」を開催し、原因究明や再発防止策の検討を進めます。調査結果につきましては、児童・保護者の方に丁寧にご説明をまいります。

引き続き、教職員の安全に関する資質を高めるとともに、児童生徒の安全管理の徹底を図ります。

#### 7 校長のコメント

このような事態を招いてしまったことは、大変申し訳ないと思います。今後このようなことが起こらないよう、校内における管理体制の徹底と再発防止を図ってまいります。

<b>お問合せ先</b>
教育委員会事務局指導部特別支援教育課長 須山 次郎 Tel 045-671-3956